

コード No. 28105

**Anti-Mouse
Fezf1 Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

-
- はじめに : マウス Fezf1 (Fez, Zfp312-like、あるいは 3110069A13Rik と呼ばれている) は、475 のアミノ酸からなる C2H2 タイプの Zinc-finger type の転写因子であり、マウスの嗅球 (olfactory bulb) や視床下部領域に発現しています。ノックアウトマウスの実験などから、Fezf1 は嗅球刺激の前に中枢神経系基底膜を介した嗅球軸索の浸透に必要であると考えられています。
- 免疫抗原 : Mouse Fezf1 の C 端部分合成ペプチド (CGPLPSGLHQGHQ)
- 精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製
- 包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定
: 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び : 免疫組織染色
: ウェスタン・ブロッティング
: 詳細は下記論文をご参照ください。
- 特異性 : マウス Fezf1 に反応し、Fezf2 に反応しない。
- 参考文献 : 1. Watanabe Y, Inoue K, Okuyama-Yamamoto A, Nakai N, Nakatani J, Nibu K, Sato N, Iiboshi Y, Yusa K, Kondoh G, Takeda J, Terashima T, Takumi T. Fezf1 is required for penetration of the basal lamina by olfactory axons to promote olfactory development. J Comp Neurol. 2009 Aug 10;515(5):565-84.